

令和 6 年 10 月

橋本市教育委員会定例会会議録

令和 6 年 10 月 29 日

教育委員会定例会会議録

開催日時 令和6年10月29日(火) 午前9時30分～

開催場所 教育文化会館 3階 第1研修室

出席者 教育長職務代理者 吉田 元信
委員 田中 敬子 簗下 純男
教育長 今田 実

出席職員	教育部長	岡 一行	教育総務課 課長	丸山 恭司
	学校教育課 課長	大谷 裕幸	生涯学習課 課長	長谷川 典史
	中央公民館 館長	中田 幸	参 事	阪口 浩章
	学校給食センター		教育相談センター	
	センター長	井上 恵二	センター長	森田 常義
	学校教育課		教育総務課	
	主任指導主事	岡村 孝之	課長補佐	中林 正

1 開会

2 前回会議録の承認について

3 会議録署名委員の指名について

4 報告事項

報告第1号 教育状況について

報告第2号 令和6年9月市議会定例会一般質問について

報告第3号 生徒指導上の諸問題対策専門委員会委員の委嘱及び任命について

報告第4号 橋本市社会教育委員の委嘱について

報告第5号 橋本市スポーツ推進委員の委嘱について

5 付議事項

6 閉会

開会 午前 9 時 30 分

教育長 おはようございます。これから令和 6 年 10 月定例会を開会します。
本日の出席委員は 4 名です。
本日、傍聴者が 1 名います。公開の会議として進行してよろしいでしょうか。

9 月定例会の会議録の承認について、簗下委員、お願いします。

簗下委員 内容は的確に記載されておりました。

教育長 はい。ありがとうございます。
今回の会議録署名委員は、田中委員をお願いします。

田中委員 はい。承知しました。

教育長 報告第 1 号、教育状況について、私から報告します。
まず、10 月 14 日に開催された第 1 回橋本市小学生リレーマラソン大会について報告します。

本大会は、橋本市体育協会と橋本市教育委員会が主催し、橋本市陸上競技協会の共催、橋本市スポーツ推進委員の協力を得て実施されました。低・中・高学年別、男女別、1 チーム 3 名で構成し、3 名の合計タイムで競う競技です。28 チーム、個人参加 8 人の合計 92 人の参加がありました。

大会後のアンケートには、「いつも見られない、子供がお友達と関わる姿やスポーツをして、友達を必死に応援する姿に感動しました。」「リレーマラソン大会を通して、運動に対する意欲が高まりました。」「チームで友達を、力を合わせて、何かをするというのはとても良い経験になりました。」「第 1 回大会ということで苦労等かなりあったかと思います。子供たちはすごく楽しかったと言っていますので、今後も続けていってもらえれば嬉しいです。ありがとうございました。そしてお疲れさまでした。」など、高評価を頂きました。持久走に対する興味・関心を高め、参加する児童の裾野の広がりとなった意見もたくさんあり、このことを走り方教室やジュニア駅伝に向けた練習会、ひいては、ジュニア駅伝への出場につながるきっかけができた大会となったと思います。賞品や、表彰の仕方、申込の仕方等、改善点のご意見も頂いていますので次回に生かし、より良い大会を目指していきたいと思います。

次に、10 月 26 日に開催された中学校体育祭について報告します。

例年、9 月中旬に行っていた中学校の体育祭ですが、熱中症対策のため、時期をひと月遅らせての開催でした。当日は、実施、延期の態度決定が大変難しい天候の日となりましたが、5 校とも実施を決定しました。途中、雨も降りましたが、臨機応変の対応を取りながら予定どおり開催されました。天候のこともありますが、どちらかというと寒いぐらいの日となりました。プログラムは精選され少なくともなっていますし、練習期間も短くなっているのですが、生徒が主体となつての体育祭を

どこの学校もつくり上げていたと感じました。このような活動が日頃の学びの主体性や学びに向かう力につながってくれることを期待したいと思います。委員の皆さんも参観された感想等をお聞かせください。

次に、2024年度ESDティーチャープログラムについて報告します。

このプログラムは、奈良教育大学ESD・SDGsセンター・近畿ESDコンソーシアムが主催し、2024年度ESDティーチャープログラム橋本会場に、10名の先生方に参加いただきました。「SDGsの理解促進」「SDGsの学習理論」「優良実践事例の分析」「単元構想案の相互検討」「ESD学習指導案の相互検討」といった内容で、オンラインの講座が2回、対面の講座が3回の計5回実施しました。このプログラムは、持続可能な社会の担い手を育成する教育であるESDを適切に指導できる教員に求められる資質・能力を明らかにし、その力量形成を目的としています。毎回レポートを作成し、ESD学習指導案を作成した現職教員等には、3月末に奈良教育大学学長から「ESDティーチャー」の認定証が授与されます。今回参加いただいた10名には、認定証が授与される予定です。今年度参加できなかった教員からも、来年度受講したいとの希望も聞かせていただいています。この取組は、今後も続け、指導案作成、カリキュラム作りができる教員の育成に努めていきたいと考えています。

以上で教育状況について、報告を終わります。

このことについて、ご質問ご意見はありませんか。

田中委員

体育祭について、参加させていただきましたので感想を述べさせていただきます。私は橋本中央中学校を見せていただいたのですが、お天気は小雨の降る中で先生方も判断しかねるなっているような感じでしたが結果、すごくいっぱい雨も降らずに、涼しい中でできたので、動いている子供たちにはちょうどよかったのかなあというふうに感じています。種目の方が、1年生2年生3年生2種目ずつ、その3年生の2種目の1つは竹の棒を取り合うという競技、もう1つはフォークダンスでした。クラブ対抗リレーと組の対抗リレーはあったのですが、熱中症であったり、午前中の開催ということもあり、かなり厳選してくださったのだなあとと思うのですが、保護者側のお話の中では、もう少しあってもよかったのかなと。中学生ぐらいになってくるのもう少しの運動量があってもよかったのかなあというふうな感想が出ていました。ただ内容は、1つ1つチーム、クラスでいろいろ考えて、応援の一声を入れたり、ちょっと楽しくなるような工夫をされていて、いろいろ話し合っていて、自分たちで、自主的に決めたことだということふうに、いい運動会だったように思います。以上です。

教育長

はい。ありがとうございます。

簗下委員

僕は高野口中学校と、それから紀見北中学校を見せていただきました。今言われたように雨でちょっと心配したのですが、それでも半袖で、教員も生徒も頑張っていたので、すごいなと思ったのですが、

まず高野口中学なのですけれども、一番最初に3年生女子生徒が式台に立って、挨拶してくれたのです。その時に、普通校長が言うような内容、保護者の方に対する

る挨拶であるとか、今日よく来ていただきましたってそんなことも言っていたのです。このしゃべり方が本当に上手で、校長先生に聞いたら、本当にアナウンス部に入るようなそんな子や言うて、非常に上手にしゃべっていてびっくりしました。

それから開会式では吹奏楽も、これ8名だったのですけども、ちょっと雨降っていたので、ドラムなんか心配したのですけども、吹奏楽も前で演奏してくれて、入場行進を行いました。赤と青と黄色の3ブロックに高野口中学校は分かれたのですけども、当初8クラスだったときに比べたらやっぱり少なくなっているなというような気がしました。それから、高野口中学校も紀見北中学校もそうなのですけども、弁当持参で、終わってから高野口中学校は、閉会式とそれから退団式をやると言われていました。結団式をやったので、退団式もそこでやるのだと。紀見北中学校も午後の部として応援合戦であるとか、色別の選抜リレーとか、閉会式を行うということで弁当持参で行うということでした。どちらの学校もそうなのですけれども、本当に競技に対して一生懸命やっていたと。紀見北中学校へ行かしていただいたときはちょうどPTAも入った綱引きをやっていたのですけども、雨降っているのに綱引きやるのやな、水吸ったら後ちょっと大変だなと思ったのですけども、思い切ってやったのやって、校長先生言われていました。PTAがそんなふう手伝って、一緒に力を入れて何かをするっていうのは本当に今少ないので、非常にこう見ていたらいいなと思いました。それから子供たちの競技は、紀見北中学校では、これは「燃えろ闘魂」っていう名前で棒引きを見たのですけども、いろいろ作戦を立てて、一生懸命に取り組んでいる姿を見ることができて、本当によかったなという気がしました。高野口中学校も紀見北中学校も本当に生徒がよく練習していて、一生懸命取り組んでいるという本当にふざける者もなかったし、見ていて本当によかったなと、そんな気がしました。以上です。

教育長 はい。ありがとうございます。

吉田委員 ESD ティーチャープログラムについてお聞きしたいのですが。オンライン講座2回、対面講座3回、合計5回っていうのが、いわゆる「SDGsの理解促進」「SDGsの学習理論」等々の内容の5回ということでもいいんですかね。

教育長 はい、理解促進、それと理論について、オンラインで講義を受けた後に、実際に事例の分析だとか構想案、そして指導案の検討というのは対面で行ってありました。

吉田委員 これの主眼っていうのはESDに関わる教員の育成ということで、毎年こういう内容で行われているという、会場を別にしてということでもいいですか。

教育長 はい。奈良教育大学ESD・SDGsセンター・近畿ESDコンソーシアムが主催されているのですが、今回参加してくれたのは橋本市を中心とした教員が参加したのは橋本会場で、他にも全国であちこち、ちょっと何ヶ所っていうのは今情報持っていないのでわかりませんが、かなりの数の会場で、こういったことが全国的に、

この大学・コンソーシアムが中心となって進めてもらっています。橋本市もこの近畿 ESD コンソーシアムに入っていますので、できる限り多くの先生方に、カリキュラムを作っていく力、そしてそこでどんな力を子供たちにつけていくのだっていうことを、実践できる力、それを育成したいと思って取り組んでいるところです。

簗下委員

今年度この 10 名の先生方参加していただいたということなのですが、まず、年代っていうのですか、どんなふうに出られるのか、年代も分かれているのか、ある年代層に固まっているのか。それから受講されて、この力量形成が目的とされていると思うのですが。その生かし方っていうか、その学校で、いろんな現職教育で発表できたり、他の先生方にもこんなだったよって伝達できると思うのですが。広く橋本市全体に対してはどんな展開の仕方があるのかなと思うのですが。

教育長

橋本会場でこれまでも開催してきていて、今年度も開催しています。その中には、20 代から 50 代まで、様々な年代の教員が参加していますが、今年度については、30 代、40 代、50 代、教諭だけではなく教頭も参加しております。ここで特に実践事例の分析をするときには、実際にしっかり今まで取り組み、実践を積んでこられた先生方に、来ていただいて、事例を紹介していただきますので、そういったことで、具体的にこういろんな話を聞かしてもらった上で、自分が自分の学校で実践するには、どういう題材を取り上げて、それをどのように力をつけていくかという構成を考えた上で、カリキュラムを作っていくという、本当に実践的なものになります。ですから、実際に自分の学校に戻り、それを、実践していただけるように、また、教頭であれば、それを指導していただけるようにしてもらえかなとそんなふうに思っております。

他にございませんか。

田中委員

どこで発言させていただこうかなあと思いながら、この場で発言させていただくのですが、先日、学校の統廃合を考えるというテーマのフォーラムにどんな意見があるのかなあと思って聞いてみたいと思い参加させていただきました。内容は、本当に 1 学年 2 学級以上必要かに加え、この計画に至るまでの進め方などでした。

私個人の受けとめ方もあるので、内容についてはここではお話しませんが、その中の意見として、先ほど承認された、9 月の教育委員会会議の中で、事務量をはかってという言葉について、何のための、誰のための計画か。腹が立つというような、言葉は正式にそういう言葉だったかちょっときっちりはあるですが、意味合いのご意見もありました。教育委員会のこれまでの会議の中でも何回か、この事務量に無理はないのかというような発言があったと思います。私自身としては、当初の毎年続いていた統廃合の計画を見て、保護者への説明、通学手段、バス通学であったり、安全確認、学校運営、生徒や先生のフォローなど、丁寧にするために無理な計画ではないかという思いで、事務局に対してお尋ねいたしました。健全に機能しなければ、どこか子供たちにしわ寄せが来るのではないのかなあという不安のもとで、そういう発言に至っております。その流れで、事務量をはかってという言葉が、教育

長とそして委員から出たと認識していますが、言葉だけ独り歩きというか、切り取られることもあるし、またとらえられると誤解を招くこともあり、私たちの思いとは別の理解がされることもあるのやなというふうに参加して感じました。これまでの会議の全文を見てもらえればわかっていただけるのかもわかりませんが、私たち自身も誤解を招かないように気をつけなければならないなと思いましたので、この会議で少しお伝えさせていただきます。すいません、どこで言えばいいのかわからなかったですが、以上です。

教育長

ありがとうございます。中心にいるのは、私たち何も変わらず、やはり子供というところが中心にあると、そんなふうに認識しております。そこをきちっと対応できる、そのためには、私たち自身の体制も必要だという、今、田中委員言われたとおりかなと思いますので、やはり理解をしてもらうためには、その部分だけ聞かれて、伝わることというのはよくあることなのですけれども、私たちもそのあたりを丁寧に対応していかなあかなということ、それは思っております。皆さんもその辺り、今後丁寧に説明できるように、今後心掛けていけたらなと思いますのでよろしくをお願いします。

はい。他にありませんか。

はい。ないようですので、これで報告第1号を終わります。

次に、報告第2号に入ります。

報告第2号、令和6年9月市議会定例会一般質問について報告をお願いします。

事務局から説明願います。

教育総務課長

おはようございます。よろしくお願いします。それでは、令和6年9月市議会定例会一般質問について報告をさせていただきます。資料の2-2ページからご覧ください。

まず垣内憲一議員からです。第2期橋本市立小中学校適正規模・適正配置基本方針に関して、今後方針を見直すのかどうかについて質問があり、学校再編の方針について見直しを図っていることや、紀ノ光台地区の指定校変更についての検討を進めていくと答弁しています。

続きまして、岡本安弘議員から、高野口中学校の移転改築について、耐震診断や土壌調査が必要でないか、また移転改築の検討委員会などについて、新年度予算で事業化して欲しいとの質問があり、耐震診断や土壌調査を行うことは考えていないこと、予算化については、住民からの要望を受けて適切に判断したいと答弁しました。

続きまして、中本正人議員から、橋本市立の小中学校の統廃合についてどのように考えているのかとの質問があり、第2期基本方針について答弁するとともに、第2期基本方針の見直しを図っていることなどについて答弁をいたしました。

続きまして、梅本知江議員からです。小学校のプール授業について、授業の開催状況や今後の方針について質問があり、92%予定通り授業が実施できたことや、民間委託に向けて指導上の課題等も踏まえ、学校等の意見を聞きながら検討すると答弁しました。

学校教育課長

同じく、梅本知江議員の小学校のプールの授業についてですけれども、学校教育課の方からは、今年度の小学校のプール開催状況について説明をさせていただきました。その中で、やはり週に2回から3回の水泳の授業を実施しているということ。それから、その中で、気象状況により、92%につきましてはできましたが、残りの8%は水泳ができなかったということを報告させていただいております。また、今後の民間等の受け入れにつきましては、これからのいろんな課題を考えた上で検討していく課題であるというふうに説明をさせていただいております。

教育総務課長

それでは続きまして、2-7 ページです。阪本久代議員です。小学校統廃合計画の見直しについて、今後どのように進めるかについて、4点質問があり、第2期基本方針の変更協議を進めていることなどを答弁しております。

学校給食センター
長

引き続き阪本議員です。質問内容は、学校給食費無償化、来年度以降も継続を。内容は、和歌山県が市町村の学校給食費無償化の半額補助を決めたことから、橋本市でも、令和6年10月から令和7年3月まで、小中学校の学校給食費の無償化が実現します。県に、来年度以降も、補助を実施するよう要請するとともに、県が実施しなくても、市として継続するよう求めます、という質問でした。答弁内容は、和歌山県に来年度以降も、学校給食費の無償化の補助を実施することについては、市として引き続き要請を行っていきます。県が給食費無償化を実施しなくても、市として継続することについては、これまでの一般質問でも答弁させていただいた通り、国や県による補助制度が設けられ、恒久財源が確保できるのであれば活用していきたい。市単独での学校給食費の無償化を実施することは考えていません、と答弁しております。

学校教育課長

続いて2-10 ページをご覧ください。高本勝次議員からの質問です。地震等大規模災害に備える地域防災計画についての中で、本課からは、学校での教職員や生徒等に対する防災教育が地域防災計画で示されていますが、現状はどうなっていますかという問いに、答弁させていただきました。各小中学校では、危機管理マニュアルの作成が義務づけられており、本市でも、各校の実情に応じて、学校ごとの防災学習の内容や、避難訓練、引き渡し訓練の年間実施計画、災害時の、児童生徒及び教職員の対応等を明文化し、毎年、防災学習や各種訓練を実施していることをお答えさせていただきました。中でも、小中学校で合同で行ったり、或いは地域と合同で行っているという特色のある訓練をしている学校もあるということを答弁させていただきました。

教育総務課長

続きまして高本議員の同じ質問です。学校体育館の空調機の設置について、設置計画について質問があり、特別教室への空調機設置に優先的に取り組んでおり、現時点では学校体育館への空調機設置計画の策定には着手できていないと答弁しております。

続きまして 2-11 ページです。同じく高本勝次議員から、高野口中学校建て替え問題について 2 点質問があり、町中への移転については要望書を受けた上で適切に判断していきたいこと、補修については、雨漏り対策を行うとともに、関係部門と協議しながら取り組んでいくと答弁をしております。

続きまして 2-12 ページです。岡本喜好議員からです。第 2 期橋本市立小中学校適正規模・適正配置基本方針について、教育委員会に関して 5 点質問があり、第 2 期基本方針の見直しや、今後の説明会の予定等について答弁をしております。

生涯学習課長

続いて 2-14 の田中博晃議員の質問です。ふるさと教育、ふるさと学習の観点から、地域に特化した内容の資料や知識的な要望があれば対応できるのかというそういうご質問いただいております。それに対して、教育委員会では、ふるさと学習教材、ふるさと橋本学、これのデジタル版を各学校に提供して、活用を推進しています。またあわせて子供たちがふるさと学習する上で、ふさわしい人材でありますとか資料については、必要に応じて、経済推進部等を通じて、協力をお願いしたいと考えておりますと答弁しました。

教育総務課長

同じく田中博晃議員から、高野口中学校の生徒が危険にさらされていることについて、5 点質問があり、安心安全に係る箇所の対策工事の実施については、緊急度合い等を鑑み高野口中学校の今後の方針を踏まえ対応していくなど、答弁をいたしました。

学校教育課長

続きまして 2-17 ページです。堀内和久議員からの発言事項です。義務教育現場職員の負担軽減についてということでした。本課からは、教育委員会で、学校現場の教職員が負担軽減できるようにということで、これまで教育委員会が取り組んできた内容について紹介するとともに、まだまだ業務量が多いということで、今年度取り入れました出退勤システムの紹介。それから、小学校に指導者用デジタル教科書を導入したことを、答弁させていただいております。さらに、今後は I C T を活用した事務の負担を軽減すること、そして、そのシステムを構築すること、これを計画しているということで、答弁させていただきました。

教育総務課長

続きまして 2-18 ページです。板橋真弓議員から、第 2 期橋本市立小中学校適正規模・適正配置基本方針について、災害対応の面で本当に危険なのか、より詳しい調査が必要でないか、小規模特認校制度について質問があり、小規模特認校制度の導入は現在のところ検討していないこと、令和 5 年度に調査を行っており、より詳しい調査の実施については考えていないと答弁をしておるところです。以上です。

教育長

報告が終わりました。このことについてご質問ご意見はありませんか。

吉田委員

2-14 の田中博晃議員さんのところの答弁の文章の多分ミスだと思うのですが、答弁の下から 6 行目「ふるさと学習の観習の観点から」これどういう、どういう意味か、ミスだったらミスでいいのですけれども。

生涯学習課長 申し訳ございません。「観習の」という 3 文字が、不要でございます。失礼しました。

教育長 よろしいでしょうか。はい。他にありませんか。

田中委員 私、議会も少し傍聴させていただいたのですが、やはり一番気になったのは、高野口中学校が、老朽化にあたっているところ、崩れてきたり、危険にさらされているって感じているってことが一番印象的というか問題かなあと思うのですが、外灯であったり、雨漏りであったりその都度対応はしてくださっていますが、なかなか連絡をきっちりできてなくて早急に、対応できてないってところがすごく問題かなあと思って聞かせていただきました。学校から、どこに連絡が来て、どんなことだったら、どんなところにこういうことで対応してくださいって、市の中で対応しているのかって言うことがあんまりわかってないのですが、どういったシステムで今までされていたのでしょうか。

教育総務課長 学校で改修とか補修がいるような場所がありましたら、まず学校から教育総務課の方に連絡が来ます。その中で施設担当の者は現場を見に行って、自分たちでできるのか、業者さんの発注が必要なのかということを見ながら対応していく形になっていくのですけども、なかなか高野口中学校、いろいろ対応もできてなかったということで、今のような状況になっている形です。

田中委員 システム的にはそういう流れでなっているのであれば、例えば、この時期からでしたら、もう電球は替えてくれています、暗くてやっぱり危険かなあと思いますので、毎日通るところ、私が通ってないので気づくことはあまりないのかなあと思うのですが、気づいてやっぱり連絡来たら、優先順位というか、替えていかないといけないところは、すぐ対応できるようなシステムづくりというか、きっちりした流れにしていっていただけたらなというふうに思いますのでよろしく願いいたします。

教育総務課長 現在学校からですね、例えば写真をメール送っていただいたりとか、そういった形で情報がやりとりできるような形で取り組んでおります。今後も取り組んでいきたいと思います。

簗下委員 ちょっと具体的な例になってくるのですけども、今言われていたことと関連して、この 2-15 の田中博晃議員の発言されている内容で、①のところに高野口中学校通学路墓地東側部分について不審者云々ってあって、樹木が覆いかぶさっておりというような文言があるのですけれども、ここ僕よく通りますので。今そうでもないのですけれども、あそこ結構草刈の頻度があるってというか、車道があつて歩道があります。ここ生徒が通学路なので通るのですけども、よく草がかぶさってきているのです。もうひどいときは通れない状況になるのです。その時は学校に言ったこ

ともあるのですが、田中委員の発言と関連して、僕らが直接その時も教育総務課に言っているのか。一旦、学校長を通して、教育総務課に言ってもらってというのがいいのか。いろいろ迷うのです。そこは僕が住んでいる区ではないので、どんな言い方がいいかなっているのはいつも迷うのですけれども。確かにここは、通学路にしてはちょっと不適かなっているような、ある時期になって草が樹木が覆いかぶさってきたら、ちょっと通りにくいなっているのを感じます。だから当然子供たちは車道の方へ降りて、歩いているのですけれども。だから、地元の人にはちょっと苦情言おうと思うのですけれども。教育委員会への言い方、どんな順番でっていうのはちょっと、気になったところなのですけれども。

教育総務課長 通学路に関しましていろいろ直接住民の方からもいただくこともありますし、学校を通してのこともありますので、直接言っていただいても大丈夫かなと思います。ただここに関しまして道路のところでも市で管理できる場所もあれば、民地の部分もあったりしますのでその辺もありますのでお伝えいただいたら確認させていただく形になるかと思っています。

田中委員 高野口中学校のことですが、耐力度調査の結果をもとにどうしていくかということ、市議会の中でお答えになっていたと思うのですが、その結果っていうのは、まだ出てないのでしょうか。

教育総務課長 今結果の方返ってきておりまして、最終は県の方に確認もさせていただく形になっておりますが、今作業を進めているところです。

教育長 他にありませんか。
はい。ないようですので、これで報告第2号を終わります。
次に、報告第3号、生徒指導上の諸問題対策専門委員会委員の委嘱及び任命について報告をお願いします。事務局から説明願います。

学校教育課
主任指導主事 橋本市生徒指導上の諸問題対策専門委員会委員の委嘱及び任命について報告します。資料の3-3をご覧ください。市内の学校におけるいじめや不登校等生徒指導上の諸問題について、適正な指導及び助言を行うため、橋本市生徒指導上の諸問題対策専門委員会を設置しています。委員は15名以内で組織し、1、専門的な知識を有する者。2、関係相談機関の職員。3、関係教育職員。4、関係行政機関の職員で構成されています。資料の3-2をご覧ください。任期は令和8年3月31日までで、計11名の方に委嘱及び任命をしています。また、新規で委嘱されたのは1名、任命は5名です。報告は以上です。

教育長 はい。報告が終わりました。このことについてご質問ご意見はありませんか。
ないようですので、これで報告第3号を終わります。
次に、報告第4号、橋本市社会教育委員の委嘱について、報告をお願いします。事務局から説明願います。

生涯学習課長

それでは、4-1 ページ橋本市社会教育委員の委嘱について、報告させていただきます。4-2 をご覧ください。橋本市社会教育委員の変更になります。新たに委員に委嘱させていただいたのは、伏尾嘉友様です。この方公民館運営審議会の会長をされております。そして前会長の高崎氏の交代に伴います委嘱の変更となっております。説明は以上です。

教育長

はい。報告が終わりました。このことについてご質問ご意見ありませんか。

はい。ないようですので、これで報告第4号を終わります。

次に報告第5号橋本市スポーツ推進委員の委嘱について報告をお願いします。
事務局から説明願います。

生涯学習課長

橋本市スポーツ推進委員の委嘱について、5-1 ページでございます。5-2 をご覧ください。橋本スポーツ推進委員の委嘱の追加となっております。藤野寿子様。こちらの方は、現在NPO法人アスリートクラブにおいて、立ち上げ当初から事務の一切を担当していただいております。例えば運動公園で開催されております走り方教室等の開催に携わっております。その方を追加として委嘱をいたしました。説明は以上です。

教育長

はい。報告は終わりました。このことについて、ご質問ご意見はありませんか。

はい、ないようですので、これで報告第5号を終わります。

続いて協議事項に入ります。まず、委員の皆様から何かありませんか。

次に、事務局から何かありませんか。

ないようですので続いて、連絡事項に入ります。まず、委員の皆様から何かありませんか。

次に、事務局から何かありませんか。

教育総務課長補佐

それでは連絡事項について、日程についてです。教育委員会の定例会です。令和6年11月の定例会です。11月26日火曜日、午前9時30分から、教育文化会館4階の第5展示室で、翌12月の定例会です。12月17日火曜日、同じく午前9時30分から、同じ場所です。令和7年1月の定例会です。1月28日火曜日、午前9時30分から、教育文化会館4階の第5展示室で予定しております。

令和6年度の近畿市町村教育委員会研修大会の日程です。11月13日の水曜日午後1時からオンラインで開催されます。出席していただける委員さんには、また追って詳細の方はお知らせさせていただきます。

連絡事項につきましては以上です。

教育長

はい。準備の方よろしく願いいたします。

他にありませんか。

はい。ないようですので、以上で10月定例会を閉会します。

閉会 午前 10 時 15 分

署 名 委 員